

第14回 赤い羽根全国ミーティング

じぶんの町を 良くする会議



2025 7/8_火-9_水

場所 新霞が関ビル 灘尾ホール／5階会議室

東京都千代田区霞が関 3-3-2

主催 | 社会福祉法人 中央共同募金会 共催(予定) | 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

じぶんの町を 良くする会議



趣 旨

赤い羽根全国ミーティングは、共同募金運動に携わる関係者が集い、共同募金の役割や可能性について話し合うことを通じて、地域共生社会の実現につなげることを目的として開催します。

第14回目となる今回は、地域課題を解決するための民間支援活動と共同募金の今後の役割について、参加者による対話を通して考えます。

主 催 社会福祉法人 中央共同募金会

共 催 社会福祉法人 全国社会福祉協議会
(予定)

日 時 [1日目] 2025年7月8日(火) 13:30～17:20 ※18:30～ 情報交換会
[2日目] 9日(水) 9:30～12:30

場 所 新霞が関ビル 灘尾ホール／5階会議室
東京都千代田区霞が関 3-3-2 (地下鉄「虎ノ門駅」「霞ヶ関駅」「国会議事堂前駅」)

- 参加対象**
- ① 市区町村共同募金委員会役職員・委員等
 - ② 都道府県共同募金会役職員・委員等
 - ③ 市区町村社会福祉協議会関係者
 - ④ 都道府県社会福祉協議会関係者
 - ⑤ 共同募金への募金等協力団体、共同募金の助成を受けた活動団体
 - ⑥ その他共同募金に関心のある方

参加定員 200名(予定)

参加費 6,000円 ※情報交換会参加の場合別途6,000円

参加申込 以下の参加申込サイトよりお申し込みください。
<https://www.mwt-mice.com/events/hane2025>
◎ **6月18日(水) 17時 受付締切** となります。



※ 申込方法の詳細は参加申込サイトのトップページに記載しております。
参加申込についてご不明な点がございましたら、
p.7 お問い合わせ先の名鉄観光サービス株式会社MICEセンターまでご連絡ください。

「民間支援活動と共同募金の役割」





プログラム

7/8_火

13:30 ~ 15:10	100分	全体会
<13:30 ~ 13:40>	10分	○オープニング 主催者あいさつ・オリエンテーション
<13:40 ~ 15:10>	90分	○全体セッション 民間支援活動と共同募金の役割
<15:10 ~ 15:20>	10分	移動・休憩
15:20 ~ 17:20	120分	分科会
		① 新任 共同募金の基本のほ
		② 広報 動画をどうする? ~動画を活用した効果的な広報のしかたを学ぼう~
		③ 助成 資金を必要とする団体の見つけ方 ~地域で頑張る人とつながろう~
<17:20 ~ 18:30>	70分	移動・休憩
18:30 ~ 20:30	120分	情報交換会 ＊近隣会場にて開催

7/9_水

9:30 ~ 11:30	120分	分科会
		④ 助成 新たな社会課題に助成で取り組む ~中央共募基金事業部の活動から~
		⑤ 広報 共同募金運動に参加する人を増やすための広報を考えよう
		⑥ 募金 企業とつながるきっかけ、ヒント
<11:30 ~ 11:40>	10分	移動・休憩
11:40 ~ 12:30	50分	全体会 令和7年度の共同募金運動に向けて ~各分科会のキーワードから~
12:30		閉会



7/8火

13:30 ~ 15:10 (100分)

全体会

● オープニング 13:30 ~ 13:40 (10分)

主催者あいさつ・オリエンテーション

● 全体セッション 13:40 ~ 15:10 (90分)

民間支援活動と共同募金の役割

地域共生社会づくりに向けて、民間支援活動の現状と、それを支える共同募金を含む民間資金の役割について、多様な分野で民間支援に関わる登壇者のお話をもとに学びます。

キーワード ● 民間支援（ボランティアと寄付）の役割 ● 民間支援と公的支援
● ボランティアの制度化への懸念（災害対策基本法改正） ● 行政による寄付募集（ふるさと納税）

【講師】 荒井 佑介さん（NPO法人サンカクシャ 代表理事）
古市 こずえさん（茨城県東海村社会福祉協議会 生活支援課生活支援ネットワーク係長）
前原 土武さん（災害NGO結 代表）
上野谷 加代子さん（同志社大学 名誉教授）
秋貞 由美子（中央共同募金会 事務局次長）

7/8火

15:20 ~ 17:20 (120分)

分科会

分科会
①

新任

共同募金の基本のほ

社会福祉協議会と共同募金会は、地域福祉の推進という共通の目的を持っています。募金・助成を通じた住民との関わりについて改めて考える機会とし、なぜ、社協職員が共同募金業務を担当するのか？何を目標に業務を進めればよいのか？共同募金のやりがいや楽しさって？等、担当者が感じる疑問や日ごろの悩みを、先輩の話を聞きながら一緒に考え、解消していきます。

【講師】 古賀 桃子さん（ふくおかNPOセンター） 柳田 千穂さん（栃木県野木町社会福祉協議会）
部坂 晃子さん（山口県共同募金会）

主な
対象

- 新たに（または久しぶりに）共同募金担当になった人
- 新任の気持ちになって改めて考えてみたい担当者

ねらい・
ゴール

- 共同募金について基本的な考え方を学ぶ。
- 社協として共同募金運動に取り組む意味を理解する。

7/8火

15:20 ~ 17:20 (120分)

分科会

分科会
2

広報

動画をどうする？

～動画を活用した効果的な広報のしかたを学ぼう～

写真やテキストだけではなく、助成活動の様子を気軽に動画で紹介できる時代。どんな場面をどのように撮影すれば、寄付者に活動の意味が伝わるのでしょうか？

ここでは、動画を活用した助成活動の紹介を行う意義をお伝えするとともに、実際に作成した動画の撮影事例を参考に、編集する際のポイントや効果的な公開の仕方、注意点などについて学びます。

【講師】 沢田 真さん（株式会社電通 クリエーティブディレクター／アートディレクター）
加藤 航太さん（栃木県共同募金会 芳賀町支会）

主な
対象

- 助成活動の紹介動画作成に挑戦してみたい共同募金担当者

ねらい・
ゴール

- 地域で動画を活用した広報に取り組めるようになる。

分科会
3

助成

資金を必要とする団体の見つけ方

～地域で頑張る人とつながろう～

共同募金の助成で応援したい団体はありますか？ 地域活動の担い手不足が課題となる中で、どうやって資金を必要としている団体を見つけ、助成による支援を届けたらよいのでしょうか。この分科会では、地域で頑張る人と出会い、つながる方法について学びます。

【講師】 室田 信一さん（東京都立大学） 片桐 一彦さん（島根県海士町社会福祉協議会）
長谷川 滉人さん（茨城県小美玉市社会福祉協議会）

主な
対象

- 地域の団体を見つけたい、つながりたい担当者

ねらい・
ゴール

- 地域の団体を見つけ、つながるきっかけを作る。



7/9水

9:30 ~ 11:30 (120分)

分科会

分科会
4

助成

新たな社会課題に助成で取り組む ～中央共募基金事業部の活動から～

中央共同募基金会では、制度の狭間にある多様な社会課題に取り組む先駆的、モデル的事業を支援する「赤い羽根福祉基金」、今解決すべき社会的な課題を掲げて助成する「社会課題テーマ助成」、災害被災地のボランティアやNPOの活動を支援する「災害ボランティア・NPO活動サポート募金（ボラサポ）」など、さまざまな助成活動を実施しています。

ここでは、中央共同募基金会の助成事業を事例によりご紹介しながら、地域での共同募金の助成にも役立てることができるヒントを提供したいと考えています。

【講師】 山岡 伸次さん（滋賀県長浜市社会福祉協議会） 東谷 知佐子さん（HATI JAPAN 多文化多言語の子ども発達支援）
澤田 真弓さん（にじいろエイド） 和田 敏明さん（ルーテル学院大学 名誉教授）

主な
対象

- 地域で取り組むべき課題の解決策に悩みを感じている担当者
- 共同募金の使途に迷いのある担当者
- 共同募金による助成に関心のある担当者

ねらい・
ゴール

- 助成が地域課題解決の早道であることを知る。
- 助成により活動の担い手を発掘しながら課題解決を図っていくプロセスを知る。

分科会
5

広報

共同募金運動に参加する人を 増やすための広報を考えよう

チラシや情報誌は、誰に何を伝えるためのものでしょうか？ 広報物を作ること自体が目的になっていませんか？

「共同募金の使途が分からない」というイメージは、共同募金運動には募金や寄付だけでなく、広報や助成の観点からも多様な参加方法があると伝えられていないからかもしれません。住民が参加することによって、共同募金への理解や協力がどう変わるのか、運動に主体的に参加してもらうための伝え方について考えます。

【講師】 今井 政貴さん（岐阜県共同募基金会 下呂市支会） 大塚 愛さん（岡山県津山市共同募金委員会）
青山 織衣さん（大阪ボランティア協会）

主な
対象

- 共同募金運動への主体的な参加者を増やしたい担当者
- 広報や伝え方に悩んでいる担当者

ねらい・
ゴール

- 広報の目的を明確化して、その先を考えられるようになる。
- 多様な参加方法があることを学び、地域でのコミュニケーションに活かす。



7/9(水) 9:30 ~ 11:30 (120分)

分科会

分科会
6

募金

企業とつながるきっかけ、ヒント

共同募金の募金方法には戸別、法人、職域など様々ありますが、「法人募金」は企業などから約17億5千万円(2023年度)の寄付を頂いており、全体のおよそ11%となっています。この分科会では企業寄付に焦点をあて、企業の特性など踏まえアプローチをするためのコツやポイントを学びつつ、グループワークを通じて今後、企業とつながるためのヒントをもちかえります。

[講師] 御手洗 薫さん(ファンドレイジングコンサルタント/株式会社岡澤商店)

主な
対象

- 地域の企業と連携した活動をしたい共同募金関係者

ねらい・
ゴール

- 企業の思いや考え方を踏まえたうえで協力を求め、よりよい協働関係を築くことにつながることを学ぶ。

7/9(水) 11:40 ~ 12:30 (50分)

全体会

令和7年度の共同募金運動に向けて ～各分科会のキーワードから～

各分科会で出されたキーワードをもとに、今年度の共同募金運動に向けた新しい取り組みのヒントを持ち帰ります。





お問合せ先

■参加申込みについて

名鉄観光サービス株式会社 MICE センター
〒100-0013 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビルロビー階
TEL: 03-3595-1121
受付時間 月～金 10:00～17:00 土日祝日休業

■ミーティングの企画内容について

社会福祉法人 中央共同募金会 総務企画部（担当：青柳、笈川、城）
〒100-0013 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル5階
TEL: 03-3581-3846 FAX: 03-3581-5755
受付時間 月～金 9:30～17:30 土日祝日休業
Eメール kikaku@c.akaihane.or.jp